

鳩山総理辞任に伴う【全国市長会会長・長岡市長 コメント】

(22. 6. 2)

来週早々「国と地方の協議の場」が予定され期待していたが、突然のことに驚いている。

鳩山総理が就任以来、住民に一番身近な基礎自治体を重視した「地域主権」の実現を最重要課題に掲げ、積極的に改革に取り組んでこられたことについては、高く評価している。

しかし、これらの改革も未だ道半ばであり、地域主権関連法案など重要な課題も山積している。この短期間で総理が交代するようでは、今後も改革が継続されていくか不安である。

停滞する地域経済の活性化や厳しい財政状況など、都市自治体の行政運営には一刻の停滞も許されない。政治の空白をつくって国民生活に支障が出ないように、新たな体制を早急に確立してほしい。